

3

まちづくりの目標

目標

3

魅力ある資源をいかし、  
都市の活力を創造するまち

地域経済に好循環が生まれるように、商工業、サービス業、農林水産業等の各種産業やものづくりが活発に営まれ、雇用の創出や消費の拡大が、本市への、人や企業の新しい流れを生み出す社会になっています。

地域活力が維持・向上していくように、人や文化、経済の交流により、新しい価値が生まれ続け、市民や国内外から、信頼・誇り・愛着が育まれた社会になっています。

健康で明るい生活を送ることができるように、誰もが文化芸術やスポーツに親しむ機会にあふれ、それらが生活に息づいた社会になっています。

このような、魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまちを実現します。

P55～

政策 1 人と活力であふれる産業の振興

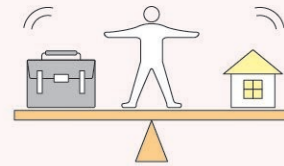
活発な産業が地域経済に  
好循環を生み出す社会



商工業の振興



農林水産業の振興



就業環境の充実

P57～

政策 2 地域活力の創造

高松への信頼・誇り・愛着が  
育まれた社会



高松ブランドの向上



観光振興と交流の推進



定住人口の拡大

P59～

政策 3 文化芸術・スポーツの振興

健康的で心豊かに  
暮らせる社会



文化芸術の創造と継承



スポーツの振興



## 目標3 魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち

## 政策

## 1

## 人と活力であふれる産業の振興

## 現状と課題

## ● 商工業・企業誘致

人口減少、少子・超高齢化の進行に伴う人手不足や後継者不足の深刻化、デジタル技術の進展に伴う従来型のビジネスモデルや消費行動の変容など、本市の商工業を取り巻く環境は大きく変化しています。

また、人々の価値観が多様化し、「SDGs」や「ゼロカーボン」といった新たな社会的課題への対応が求められるなど、地域経済を担う地元企業は多岐にわたる経営課題に直面しており、経営支援に対するニーズも多様化してきています。

このような中、地域経済の持続的な発展に向けて、地元企業が時代の変化に対応できるよう、国や香川県、その他の関係団体等と連携を図りながら、地域経済の根幹である中小企業の経営基盤の強化や人材の確保・育成などを支援していく必要があります。

また、地域経済の活性化や雇用の拡大を図るため、新分野への進出など、企業の成長の促進、起業・創業しやすい環境の整備、企業誘致・立地を積極的に推進する必要があります。



## ● 農林水産業

農林水産業では、担い手の減少や高齢化に加え、燃料、肥料、飼料等、生産資材の価格高騰が深刻化し、持続的な生産が困難な状況になっています。

このような中、農業においては、基盤整備率や担い手への農地集積率の向上、水路等の農業インフラの整備、優良農地の確保、耕作放棄地の解消、農作物に被害を及ぼす野生鳥獣への対応が必要となっています。

林業においては、森林や林道を適切に管理する人材の確保、水産業においては、漁獲量の減少に伴う水産資源の維持・回復への対応が必要となっています。

また、新技術導入による生産コストの削減、環境負荷の低減などに取り組みながら、市民に必要とされる農林水産物を安定的に生産することが求められています。

一方で、生産した農林水産物の円滑な流通を図るため、卸売市場や食肉センターの適切な維持管理や地産地消を促進するための更なる情報発信が必要です。

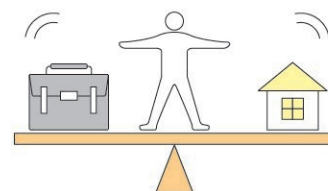


## ● 就業環境

ライフスタイルの多様化により、長時間労働の抑制や有給休暇の取得促進など、仕事と生活の調和を実現した働き方(ワーク・ライフ・バランス)が重視され、広がってきています。

また、急速なデジタル技術の進展に伴うテレワークの普及や副業・兼業を容認する企業の増加など、働き方が多様化してきており、一人一人が多様で柔軟な働き方を自由に選択できる社会の実現が求められています。

一方で、コロナ禍からの経済活動の回復を背景に労働力需要は高まっており、人手不足を背景に、様々な分野で人材確保に苦慮する企業が増加しているため、労働力不足への対策に取り組む必要があります。



## 政策の方向性

世界経済の変動や脱炭素に向けた取組、デジタル化、人材の確保など、企業に求められるあらゆる変化やその影響への対応を支援し、持続可能な地域経済を構築します。

新しい技術やサービスのアイデアを持つ人々が、本市で起業・創業し、成長を続けるため、国や香川県、その他の関係団体等と連携を図りながら、切れ目のない支援に取り組みます。

さらに、本社機能や研究開発部門、工場等の戦略的な企業誘致を推進し、雇用機会や新たな活力の創出を図ります。

農林水産業では、生産環境の整備や生産技術の高度化の支援により、より効率的で安定的な生産を促進します。

また、担い手の確保・育成や環境負荷低減に向けた取組、適切な資源管理等により、持続可能な生産体制を構築します。

市内事業者に対しては、本市での就職希望者の適切なマッチングの促進に取り組み、人手不足の解消を図ります。

また、多様な人材が活躍できるよう、柔軟な働き方ができる職場環境の整備に関する啓発を行います。



企業立地の協定締結式



IoTを活用した水田の水位管理

政策  
1

「人と活力であふれる産業の振興」のもと取り組む施策

施策 1

商工業の振興

施策 2

農林水産業の振興

施策 3

就業環境の充実



## 目標3 魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち

政策  
2

## 地域活力の創造

## 現状と課題

## ● ブランド力

各種の分野に関する本市の魅力や特徴について、分野単体でWebサイトやSNS等の様々な媒体を活用してプロモーション活動に取り組んでいますが、本市全体の魅力を分野横断的・効果的に発信できていない状況です。

また、市民の誇りと愛着(シビックプライド)の醸成につながる発信も十分ではない状況です。

そのため、本市の新たな都市のイメージや魅力を創出し、認知度の向上に取り組み、交流人口や関係人口の拡大、企業誘致を推進していく必要があります。

また、より多くの人から本市の特産品が選ばれるためには、本市固有の資源の一層の活用と新たな商品の更なる開発を促進し、市内外に向けた積極的な情報発信と後継者の確保・育成を図ることが求められています。



## ● 観光交流

香川県等と連携しながら、高松空港国際線就航都市を中心とした観光キャンペーンの実施や政府系国際会議・大規模MICEの誘致、瀬戸内国際芸術祭の開催、多言語観光案内所等の受入体制の整備などにより、特にインバウンド誘客に成果を上げてきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い、観光業は大きな打撃を受けました。

今後、観光需要が回復し、多くの観光客が訪れる活気あふれる都市を目指し、観光資源の掘り起こしと磨き上げ、おもてなし環境の充実、観光客誘致に向けたプロモーションの積極的な推進などが求められています。

また、観光振興を通じた地域活性化を図るためには、個人・少人数グループ旅行や滞在型観光等への観光の在り方の変化を前提とし、デジタル技術も活用しながら、持続可能で高付加価値の観光コンテンツが必要とされています。

一方で、文化・観光・教育などの幅広い分野で、海外4都市や国内5都市と都市提携を結び、交流してきましたが、今後、更に交流を発展させていくためには、市民レベルでの交流も含めた新たな地域間交流に取り組んでいく必要があります。



## ● 移住定住

新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、地方でのサテライトオフィスの開設やテレワークの普及の一層の拡大を背景に、ライフスタイルや働き方が多様化し、若い世代を中心に、テレワークを活用して都市部の仕事を継続したまま地方に生活拠点を置く「転職なき移住」、「二地域居住」への関心が高まっています。



今後、本市が「暮らしの場」として多くの人から選ばれるためには、香川県や瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の構成市町、事業者等との連携を強化しながら、本市の魅力や移住支援の取組に関する情報の効果的な発信に取り組む必要があります。

また、本市では、進学や就職をきっかけとした若者の大都市圏への転出が多く、本市出身者を対象としたUターン促進の取組も求められています。

## 政策の方向性

地域資源の魅力を再認識して国内外に発信するなど、戦略的なシティプロモーションによる本市の知名度向上に取り組み、より多くの人々が魅力を感じるようブランド力の向上を図ります。

また、本市出身者や居住経験者等、本市にゆかりのある人と継続的につながりを持ち、積極的な情報発信を行うことで、関係人口の拡大を図ります。

香川県や(公財)高松観光コンベンション・ビューロー等の関係機関との連携の下、訪日外国人の関心・ニーズに応える観光商品の開発支援や受入環境の整備を進め、他地域にはない魅力を発信し、より多くの観光客の誘致や地域への経済波及効果が期待できるMICE誘致を戦略的に推進します。



東京圏での特産品PR

また、市民レベルの国際交流により、草の根レベルでの相互理解を促進します。

地方移住への関心が高まる中、移住希望者やUターン希望者をターゲットとした暮らしの場としての本市の魅力を発信し、移住・定住人口の拡大につなげます。



G7香川・高松都市大臣会合

政策  
2

### 「地域活力の創造」のもと取り組む施策

施策 1

高松ブランドの向上

施策 2

観光振興と交流の推進

施策 3

定住人口の拡大



## 目標3 魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち

政策  
3

## 文化芸術・スポーツの振興

## 現状と課題

## ● 文化芸術

近年、価値観の多様化やライフスタイルの変化により、心の豊かさを求める人が増えてきており、日常生活に潤いをもたらす文化芸術の重要性が高まっています。

そのため、市民が、日常的に文化芸術に触れる機会の創出や多様な文化芸術活動を行うことのできる環境整備が求められています。

一方で、日常生活の中で、文化芸術活動を行っている人の割合は低く、デジタル技術を活用した新たな創造的活動の支援や活動団体の交流促進、担い手の育成などに取り組む必要があります。

また、文化財においては、我が国の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで伝えられてきた貴重な国民的財産として、市民・大学・事業者・行政等により、保存・保全、継承がなされてきました。

今後も、文化財を貴重な資源であると市民が理解し、次世代に継承していくため、情報発信の充実や積極的な活用により、地域資源としての新たな魅力の創出に取り組む必要があります。



## ● スポーツ

近年、健康づくりの意識の高まりや余暇の過ごし方の変化に伴い、スポーツに対する市民ニーズが多様化しています。

スポーツは、人が健康に暮らし、人生を豊かにする上で、重要な役割を担っているため、一人一人のライフスタイルに応じて、より多くの市民がスポーツに親しむことのできる機会の創出や各種スポーツ団体への活動支援、指導者の育成を図る必要があります。

スポーツ施設については、老朽化が進み、また、地域におけるスポーツ施設の数や機能等のニーズが変化してきており、施設の長寿命化や利用者の利便性、ファシリティマネジメントの視点を踏まえた施設の整備・充実が必要です。

一方で、魅力的な市民参加型スポーツイベントの開催や地域密着型トップスポーツチームへの支援を通じた地域の活性化に取り組むことが求められています。



## 政策の方向性

イベントの開催、文化芸術ホールや美術館等の拠点機能の整備、文化芸術活動への支援等により、市民が鑑賞や実践を通じて文化芸術に親しむ機会を創出・拡大し、市民の暮らしをより豊かで充実したものにします。

また、市民との協働による文化財の保存管理やデジタル技術の活用による文化財情報の発信を通じて、文化財の新たな魅力を創出します。

多様なスポーツ・レクリエーションの場の整備や機会の提供を通じて、市民が年齢や身体の状態にかかわらず、スポーツに親しむことができる環境を創出します。

また、市民参加型スポーツイベントや地元のトップスポーツチームとの交流等を通じて、地域のにぎわい創出やシビックプライドの醸成を促進します。



TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 2023  
(丸亀町寺番街ドーム広場)



高松ファミリー&クォーターマラソン in 庵治

政策  
3

「文化芸術・スポーツの振興」  
のもと取り組む施策

施策 1 文化芸術の創造と継承

施策 2 スポーツの振興